

くらし・福祉切り捨て許さず 住みよい和泉市めざして奮闘 **日本共産党**

市民のくらし第一に 「公約実現」めざしました

4年前の市議選で、日本共産党は表のような、公約を掲げました。日本共産党和泉市議団は、国が地方財政に対する地方交付税・補助金を削減するなど、厳しい状況の中でも、市民の皆さんの運動と手を携え、議会での質問、市長に対する毎年の「予算要望書」提出など、公約と市民要求実現に向け奮闘してきました。

その中で、「子ども医療費助成」の「所得制限撤廃」・「通院」が小学校一年生まで対象拡充（「入院」は小学6年まで）、「小・中学校の校舎耐震化」の促進、「学童保育（仲よしクラブ）」の時間延長、「老人集会所の床暖房改修・ガス代の公費負担」、「同和・人権行政」での「随意契約」見直し、「コミュニティバスの運行改善」など実現してきました。引き続き市民要求実現に奮闘します。

- 子どもの「医療費助成」改悪許さず、さらに拡充
- 妊婦健診への助成、7回まで拡充
- 国保料は抑制し、減免制度を充実。支払可能な保険料に
- 介護保険料を引き下げ、利用料に「減免制度」を創設
- 市立病院は、公立として、市民の期待に応える病院に
- 学校施設の改修・耐震化の促進、少人数学級の実現、学校図書館の増額
- 公立保育園の民営化に反対、学童保育の時間延長など豊かな放課後を
- 「同和行政」の完全な終結を

市長公約・「再生プラン」・「行革」の問題点指摘

市立病院・南池田（第1・第2）保育園・学校給食の民営化は許しません

一方、国の悪政・構造改革路線は地方議会にも影を落とし、和泉市でも財政「再生プラン」での補助金削減・障害者給付金カットがすすめられています。今年度は、市立病院を民営化への経営形

態見直し検討、南池田第1・第2保育園の統合民営化や、学校給食の「民間委託」検討する予算化がされています。日本共産党は、これらの予算や考えにキッパリ反対しています。

請願採択・議会改革にも頑張りました

「信太山丘陵の市有地の自然環境の保全に関する請願」では、日本共産党和泉市議団も紹介議員の一人となり採択に尽力するとともに、請願者の意見陳述実施も改善させてきました。

また、他党・他会派議員とも協力し、「議会の映像配信」を本会議、特別委員会、常任委員会と実施を拡大させ、また「一般質問の一问一答方式」導入など、議会改革も進めました。

国・府の悪政とキッパリ対決

意見書採択などに尽力

日本共産党市議団は、「自民・公明政権」「民主体政権」「大阪府」の進める悪政に対する、市民・市民団体・労働組合の皆さんの要請を、積極的に受け止め、他党・会派に働きかけ、「意見書」などの採択に尽力しています。

この4年間で採択させた、主な意見書だけを見ても、国や大阪府の悪政に対する反対の声や、施策前進を求める運動を、激励する役割を果たしていることがわかります。



- 「現行保育所最低基準の遵守・拡充を求める意見書」
- 「中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書」
- 「食の安全・安心と食糧自給率向上政策を求める意見書」
- 「すべての石綿健康被害の早期救済と万全な対策を求める意見書」
- 「TPP（環太平洋経済連携協定）への参加中止を求める意見書」
- 「原子力依存から再生可能エネルギーへの転換を求める意見書」
- 「大阪府民の医療を守る意見書」（府立泉州救命救急センターの移管・統合、補助金廃止反対）